



通算第 22 号の SSH 通信となります。今回は「ASⅢ研究成果発表会」と「九州大学附属天草臨海実験所研修」、「サイエンスインターハイ@SOJO」の取組をお知らせします。

ASⅢ研究成果発表会

7月19日(金)、天草市民センターにおいて「ASⅢ研究成果発表会」を開催しました。

この発表会は、3年 AS クラスが ASⅡ・Ⅲの授業で行ってきた課題研究成果を地域に向けて発信することを目的として、はじめて実施しました。2月の SSH 研究成果発表会で口頭発表をしていない5班による口頭発表と、その他の ASⅢ5班、ASⅡ11班、科学部5班のポスター発表、最後に科学部海水準班の英語口頭発表といった構成です。それぞれの研究が高度化してきたことや、発表に工夫がみられたことが、聴衆にとってわかりやすい発表につながったと思います。生徒からの質問(英語による質問含む)が途切れることがなく、探究の文化が天草高校全体に広がっているという成果を感じることができました。また、この会の運営は2・3年 AS クラスで行いました。発表会運営の手法が3年生から2年生に伝達されたことで、2月に予定している発表会もスムーズに実施できると考えます。



第5回 SSH 運営指導委員会

7月19日(金)の発表会終了後に、天草市民センター和室において第5回運営指導委員会を行いました。本校の SSH 運営指導委員は、熊本大、崇城大、長崎大、鹿児島大、DENSO、天草市役所、熊日新聞社、県教育センターからの9名で構成されています。今回は、7名に出席していただき、SSH 中間評価(指定3年目の学校対象)に向けての助言をいただくことが主となりました。午前中の発表会を踏まえて、天草高校 SSH の成果はどこにあるのか、その評価の手法をどのようにするのかなど、建設的で大変参考となる意見をいただくことができました。

九州大学附属天草臨海実験所研修

7月22日(月)と23日(火)、苓北町富岡にある九州大学附属天草臨海実験所で、来年度 AS クラス(科学的な探究活動を行うクラス)を希望する1年生(21名)を対象に、大学の実習を体験する2日間のプログラムを実施しました。

研修1日目

プランクトンの採取及び観察実習

実習船セリオラのプランクトンネットで植物性と動物性に分けて採取しました。また、顕微鏡で詳細まで観察しながら、プランクトンのスケッチを行いました。

海での潮間帯生物の採取実習

九州大学の新垣先生から講義を受けた後、潮間帯高潮位と中潮位に生息する生物をピンセットで採取しました。コドラート(50cm四方の鉄製の枠)ごとにグループで協力しながら行いました。

潮間帯生物の種同定作業・定量調査

海で採取した貝やカニなどを形や色、肌触りなどの特徴で分け、名称を图鉴で調べながら特定する作業です。貝の形や肌触り、生息地(潮間帯高位や中位)なども特定の対象になりました。

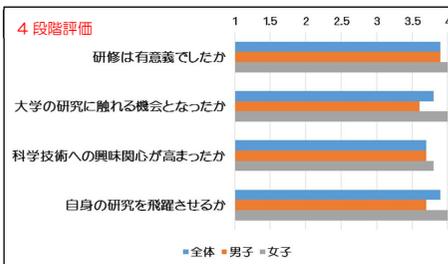
研修2日目

データ分析作業

種を同定した高潮位と中潮位ごとの生物個体数を表やグラフにまとめ、傾向などを分析する作業を行いました。相対優先度曲線の書き方や類似度の計算の仕方を教えて頂きました。

【参加生徒感想】

- 海での生物採取や顕微鏡での観察も楽しかったが、私が最も楽しかったのはデータ分析の実習でした。表やグラフに表した後には考察し、結論を見出すことに喜びを感じました。また、大学生の方々に、様々な話を聞くことができ、充実した2日間となりました。
- 僕は今回の研修で、より AS クラスに入りたいという気持ちが強くなりました。また、自主的に課題研究を行いたいと思うようにもなりました。種同定作業では、2種類の生物を自分たちで同定でき、とても楽しかったです。今回得た知識や技術を、今後の研究活動で活かしたいと思います。



サイエンスインターハイ@SOJO

7月28日(日)、崇城大学 SoLA ホールで行われたサイエンスインターハイ@SOJOに参加しました。九州圏内26校より756人が集い、研究成果をポスター形式で発表します。本校からは、2・3年 AS クラスと科学部の計78名が参加し、25件の研究発表を行いました。大学の先生方や他校生から学ぶ機会ともなったため、今後の研究に活かしたいと思います。

